

減損会計仕組み学ぶ

東京商工リサーチ 土地資産セミナー 山形

土地資産問題をテーマにした東京商工リサーチ

インストラクターとして理解を深めた。

山形支店主催のセミナー

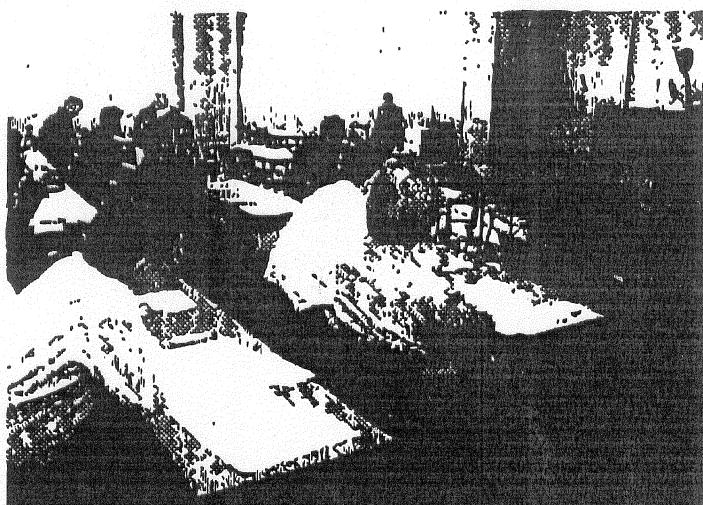
が十七日、山形市の山形流通団地組合会館で開かれた。企業経営者ら約六十人が参加し、一〇〇六年三月期から原則的にすべての企業に適用される固定資産の減損会計の

固定資産の減損会計は、事業用の土地、建物などの価値が著しく低下した際、損失として処理する制度。セミナーでは、税理士で不

動産鑑定士の眞谷正志氏(山形市)が「セミナー」で活動する専門家集団「ヘキストラインズ」の平均価格(一平方㍍)バ

七万七千一百円(同)福島(同)五万四千四百円(同)の両市を上回っていることを指

げ、「山形市の経済規模を考えると、今後地価が上昇するとは思えない。貢谷氏は、年度地価調査結果を基に、山形市の住居地頭に自社の資産の含み損益を常にきちんと把握するべきだ」と強調した。



経営者らが減損会計について
学んだセミナー